

vol.37

SPRING  
2017

青森県立保健大学広報誌 活彩！保健大学だより

# Campus Magazine

## オープンキャンパス

平成 29 年 8 月 6 日(日)

10:00 ~ 15:00

(受付開始 9:30)

※予約制ではありません。多くの方のご来場をお待ちしております。

### プログラム(予定)

- 学科紹介 ● 模擬講義 ● 展示コーナー
- 実習体験・実験コーナー ● サークル紹介
- 在校生による個別相談コーナー

### 看護学科



### 理学療法学科



### 社会福祉学科



### 栄養学科



## 大学祭

平成 29 年

10 月 7 日(土)・8 日(日)

※どなたでもお気軽にお越しください!



仲間と流した汗は、一生忘れない大切な思い出に・・・

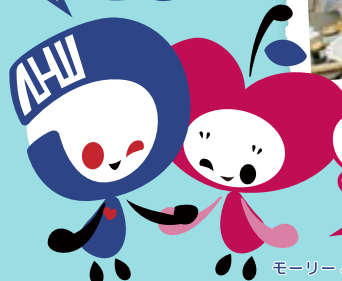


## 保護者等(後援会)懇談会

平成 29 年 10 月 7 日(土)PM

皆さんの  
“見たい、知りたい”が!

ここには  
いっぱい、  
つまっているよ!



モーリーとリンリン ©

# 平成28年度 卒業証書・学位記授与式

平成29年3月9日(木)

平成29年3月9日(木)、本学講堂において、学部卒業生233名、博士前期課程修了生7名、博士後期課程修了生3名に、卒業証書・学位記が授与されました。

今年度から本学では、卒業生・修了生全員に「アカデミックカウンを着用させることとしました。これは、卒業生・修了生に、専門職業人としてだけでなく、学問を修め学位を取得することへの自覚と責任を持ってもらいたいという想いから導入したものです。

式では、上泉学長から、各学科・課程の卒業生・修了生代表者に卒業証書・学位記が授与されました。人生初の学位授与に臨んだ学部卒業生らは、学術的な慣例に従いアカデ

ミックキャップ(帽子)のタッセル(房)の位置を右から左に替え、学位を授与された証を示しました。

学長は式辞の中で、「『新しい始まり』を意味する卒業式“Commencement Ceremony※”を経て、新しいステージに向け、ヒューマンケアの心を持ち、学位を得た自覚と責任を持って進んでいってほしい」との激励の言葉を卒業生・修了生に贈りました。

ここに謹んで、卒業生・修了生の皆様のご卒業・修了を祝すとともに、本学で学んだことを糧に、それぞれのフィールドでご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。

※Commencement Ceremony: 学位授与を含む大学の卒業式の意味



# 平成29年度 入学式

平成29年4月4日(火)



青森県立保健大学講堂において、平成29年度入学式が行われ、健康科学部・健康科学研究科あわせて259名の新たな仲間を迎えることとなりました。

これからの大学生活に期待を膨らませる新入生と、それを見守る保護者や来賓の方々、本学の教職員が待ち受ける中、ステージの幕が上がり、開式の辞が述べられました。

新入生の名前が一人ひとり読み上げられ、緊張と期待に満ちた声で返事をする新入生の姿が印象的でした。全員の入学が許可された後、上泉和子学長から、新たな学生

生活への励ましと、ヒューマンケアを実践できる人間に成長して欲しいとの期待の言葉が述べられました。入学生代表宣誓では、青山紗弓さん(理学療法学科1年生)が新入生を代表して、夢の実現と社会に貢献できる人材となるため日々成長することを誓いました。

新しい仲間を迎えての新たな1年が今年も始まります。本学で積んだ経験の一つひとつが、数年後の彼らの大きな成長と夢の実現へと繋がっていく、その一歩を踏み出した記念日であることを感じさせてくれる入学式でした。

# 新入生宿泊研修

平成29年4月8日(土)~9日(日)



学生自治会長 坂井 美香

学内及び青森県平川市の南田温泉ホテルアップランドにおいて、新入生研修を実施しました。この研修は、新入生が同級生、上級生、教職員と交流することで、不安や悩みを解消し、新しい大学生活を円滑に過ごせるよう支援することを目的としています。

今年は、学生自治会役員と各学科の上級生の、合わせて32名が研修サポーターとして、1泊2日の宿泊研修に参加しました。全体演習では、看護学科教員で人権委員の細川先生及び上級生によるアルコールハラスメント予防についての講演のほか、栄養学科の上級生による健康的な食生活をテーマにした学生目線の講演もあり、新入生をはじめ、上級生、教職員も楽しそうに講義に聴き入っていました。

学科別自由討論では、上級生が中心となり、さまざまなテーマで話し合いを進め、新入生の興味関心のある事柄や不安に思っていることに対して、丁寧にアドバイスをしていました。自治会企画のレクリエーションでは、クイズやゲームで学科の枠を超えた交流をしながら、新しい学友との出会いを楽しんでいました。

私自身、新入生の元気でパワフルな姿にたくさんパワーをもらった二日間でした。この研修が新入生にとって充実した学生生活を送るきっかけとなったことと思っています。



レクリエーション



全体演習



学科別自由討論

# 平成29年度 学生寮 レジデントアシスタント一同

大学の敷地内にある学生寮「あずまし寮」をご存知ですか?新入生と昨年度の寮生の中から立候補し、選ばれた2、3年生のレジデントアシスタント計90名が寮生活を送っています。私自身寮生活を一年間経験してみて、周りを気遣う思いやりの心や協調性を養う良い経験ができたと感じています。あずまし寮では、運動会やクリスマス会などのイベントも行っている機会が多くあります。入寮当初は新生活に対する不安でいっぱい

でしたが、友達と励ましあいながら大学生活に慣れていくことができました。一緒に寮生活を送り、意気投合した寮生は一生の友達であり、入寮して本当に良かったです。寮生にとって寮が快適で居心地の良い場所になるように、レジデントアシスタントとして寮母さんをはじめとする寮関係者の方々と共に尽力していきたいと思っています。(レジデントアシスタント兼寮長 奥山 可萌)。



平成29年度レジデントアシスタント委嘱式にて(写真奥右側から)

- 寮長 社会福祉学科2年……奥山 可萌さん
- 副寮長 社会福祉学科2年……安達 勇之介さん
- 副寮長 看護学科2年……福島 風子さん
- 会計 社会福祉学科2年……篠原 秀都さん
- 会計 看護学科2年……山根 新菜さん
- 会計 社会福祉学科3年……日黒 佳緒莉さん



みんなで仲良く夕食



自炊がんばっています



優しくサポートします

# 新入生の近況報告

## 看護学科



長谷川 季里

大学に入学して、早くも一ヶ月が経ちました。入学当初は不安なことばかりでしたが、徐々に学校生活にも寮生活にも慣れ、忙しいながらも楽しい日々を過ごしています。寮生活や4学科合同授業、サークル活動を通して他学科の友人もできました。

入学してすぐあった新入生研修では、履修登録や授業のシステムなど分からないことのアドバイスを先輩方に頂きました。現在、5月にあるフィールドワークに向けて他学科とのグループワークに取り組んでいますが、自分では思いつかないような考えや意見に触れることができ、改めて4学科合同授業の良さを感じています。また、中学生の頃から興味を持っていた看護の専門分野にも授業で少しずつ触れているので、どんどん目標へと歩みを進めているのかと思うと身が引き締まる思いになります。

これから4年間大変なことばかりだと思いますが、助産師という目標を達成するために、正しい看護技術・知識を身につけていけるように頑張ります。

## 社会福祉学科



秋田谷 遥七

入学前は勉強についていけるか、友達はできるのかなど楽しみなことよりも不安の方が多くありました。しかし、入学してから一ヶ月が経ち、想像していた大学生活とは真逆で、とても楽しい日々を送っています。入学前から興味があった4学科連携の授業は新しい友達を作るきっかけとなり、今までは消極的だった私が自分から声をかけたり質問をするようになったりして、自分の変わりように驚いています。これからは授業内での課題やテスト、サークル活動も増えますが、より充実した大学生活になると思います。ただ大学生活を送るのではなく、授業やサークル活動、バイトなどを通して得た人と人との関係を大切に、将来を見据えた行動を取っていきたいです。

## 理学療法学科



麻生 実央

この春に大学へ入学してから早くも一ヶ月が経ちました。最初は一人暮らしや大学の授業について行くことができるのかと不安なことばかりでしたが、新入生宿泊研修を通してその不安を解消することができました。また、4学科共通科目を通して同じ学科の学生だけでなく、他学科の学生の友人もでき、毎日充実した日々を過ごせています。これから4年間学業に励むことはもちろんのことですが、サークル活動やボランティア活動、アルバイトなど、大学生のうちにはできないことを通して多くのことを学び、理学療法士の卵として成長していきたいです。

## 栄養学科



佐藤 李香

憧れだった保健大生になって早くも一ヶ月が経ちました。新入生宿泊研修では友人との関係を深め、先輩方から勉強・生活のアドバイスを頂き、入学前にあった不安も少しずつ和らぎ青森での生活に慣れてきました。4学科合同授業などもあり、他学科の友人の意見を聞き自分の視野を広げられますし、友達がたくさんできます！勉強に集中できる環境も整っているので大学生活を充実したものにできると感じました。一人暮らしは全て自分でやらなければいけないので大変な面もあり、最初は寂しさがありました。しかし、裏を返せば自分が成長できるチャンスだと思い、節約しながらも栄養バランスを考えて食事をとり、一人暮らしを楽しんでいます。

今後は、臨地実習等を通して施設や地域の方との関わりが増えます。管理栄養士に必要な知識と経験をたくさん得て、将来は人の心に寄り添い、患者や地域の方と共に回復や改善に向かっていける管理栄養士になれるよう頑張ります！

# 学生生活サポート

## 学生を支援する体制について



学生部長  
杉山 克己

大学では「学習」ではなく「学修」を用います。正解のある「学習」を超えて、「生涯学び続け、主体的に考える人材」(H24.8中教審答申)を育成することを目指すからです。その為には安心して学び続けられる環境の整備も重要です。具体的には様々な相談支援、授業料減免などの経済的支援、心身の健康を保持増進するための仕組みなどが含まれます。また安全・安心して学び続け各人の希望を叶えていくためには、実習時の各種検査や予防接種、就職対策や国試

対策なども必要になります。これらの多くに皆さまの後援会費を活用させていただいています。

この結果、本年度も高い国試合格率や就職率に繋がったと感謝しております。本学では卒業後も就職支援を続けており、今年も5月以降に内定を得ることのできた卒業生もいました。こうした本学の取組に関心を持っていただきつつ、今後ともご支援を頂ければと思っています。

## 学生の心とからだを支えています

困ったときはとりあえず{保健室へ}



保健嘱託員  
大里 美佐子

体のこと	頭痛が続く。体がだるい。咳が止まらない。朝なかなか起きられない。過呼吸ぎみになる。など
心のこと	やる気が起こらない。気持ちが折れる。イライラする。だまっても涙があふれ出る。自分の性格に悩む。孤独感。いじめにあっている。など
対人関係	友だちとうまくいかない。集団の中にいると疲れる。人の目が気になる。人前だと緊張してしまう。相手の言いたいことがわからない。恋愛問題。など
学業一般	勉強の仕方がわからない。集中が続かず課題がこなせない。単位や履修のこと。課題が多くて優先順位がつけられない。時間内にノートがとれない。など
生活全般	物が見えづらい。音が聞きづらい。段差・階段利用が困難。雑音が気になる。家庭・経済上の問題。下宿・アパートの問題。サークルやアルバイトの問題。など

上記のような毎日の困りごと、心配や不安なこと、どこに相談したらいいのかわからずひとりですっと悩んでいることなどを話してみませんか？保健室という空間で、自分の心と体を見つめる時間を作ってみませんか？あなたの困りごとに寄り添ってもらうことで、解決の糸口が見つかるかもしれません。

困りごとによっては、保健室を窓口にして、カウンセラー

(学生相談)や学科の教員、ときには教務学生課に相談したりつなげたりと、個人情報に配慮しながら進めていきます。周囲のサポートを受けながら、大学生活を実りあるものにしていきましょう。

※カウンセラーが来校しての学生相談は週1回11時～15時、臨床心理士の岩田彩子さんが、C棟1階のカウンセリング室に待機しています。利用したい人は、保健室が窓口になっていますので、声をかけてください。

## 看護学科



### クリティカルケア

手術後の患者さんの状態を素早く観察・判断し、的確な初期対応ができるよう学んでいます。



### 災害看護学

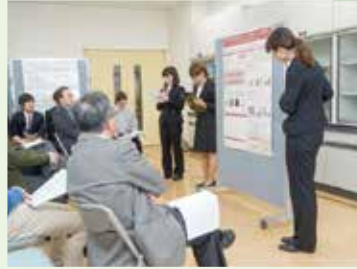
災害が人々に与える影響と障害、災害に関する制度・政策、看護師として果たす役割や発災時の活動等について学んでいます。

## 理学療法学科



### 運動器障害理学療法学実習

手足のけがなどの運動器障害を有する人に対する理学療法の手技を学んでいます。



### 卒業研究発表会

指導教員のもと2、3人のグループで研究した成果を教員と学生の前で発表しています。ときにはきびしい質問もあり、緊張感が漂っています。

### 生徒から学生・大人への移行の時期



看護学科長  
鳴井 ひろみ

看護学科は、看護の専門職である「看護師」「保健師」「助産師」を養成する学科であり、人間の生涯にわたる健康生活のニーズやその社会的ニーズの変化に対応できる人材を育成します。看護を提供する場では、適切な人間関係を保つこと、相手の気持ちを尊重できるなど、人間として成熟した人材が求められています。そのような人材を育成するた

めに早期から実習を経験し、様々な人との関わり方を学びます。

看護学科には教員が約40名所属し、1学年100名以上の学生に対し、担任制とチューター制を導入し、学生を見守れるようサポート体制を強化しています。大学生の年代は、生徒から学生・大人への移行の時期であり、不安定な時期でもあります。そのため、いろいろなことに悩みや迷いを抱きやすい時期ですので、家族とのコミュニケーションを大切にしていだければと思います。

看護学科では、保護者および地域の皆様、同窓生の皆様とともに手を携えて人間性豊かな人材を育成し、地域の人々の健康に寄与できるよう支援していきます。

### 平成 28 年度卒業生 近況報告



八戸市立市民病院  
救命救急センター  
和田 祐実

みなさんこんにちは！私は、看護学科卒業生の和田祐実です。4月から八戸市立市民病院の救命救急センターで働いています。現在は、新人研修や病棟勤務を通して、看護師として必要な技術や知識を学んでいます。救命救急センターは、専門性の高い医療と看護が必要不可欠であり、初めて経験することも多いですが、忙しいながらも充実した日々を送っています。大学生活のことを思い出すと、生活面・勉強面など様々な面で、大学でしか経験できないことが多くあると感じています。実習や

テストなど大変なことが多くあると思いますが、そこでの経験が自己の成長・自信につながっていきます。失敗を恐れずに様々なことに挑戦し、悔いのない楽しい大学生活を送ってください。後輩の皆さんの活躍を応援しています。

### 理学療法学科の特長



理学療法学科長  
岩月 宏泰

本学科では1学年30名の定員に対して、医師、理学療法士などの専任教員18名が最新の医学、理学療法学理論及び技術の実際について教授しています。また、各学年とも2名の教員による担任制をとっており、学生の様々な相談に親身に応じ学生生活支援にも力を入れています。さらに、理学療法に

ついての臨床能力を高めるために、教材開発、演習形式の授業の展開、学外実習施設と連携した臨床実習の充実などを行っており、効果を挙げています。このように本学科では、学生が将来理学療法士として、地域でヒューマンケアに根ざした理学療法を実践できるよう情熱的に指導しております。

### 平成 28 年度卒業生 近況報告



いわて  
リハビリテーション  
センター  
千葉 なつ美

私は岩手県の雫石町にある、いわてリハビリテーションセンターで働いています。新しい環境にも少しずつ慣れ元気に頑張っています。まだまだ未熟ですが先輩方の真摯な姿勢や、患者様との日々の関わりの中から様々なことを学び、成長していきたいと思っています。後輩の皆さん、辛いと思っていた実習も勉強もいつか必ず自分を支える糧になります。そして一緒に乗り越えた仲間はかけがえのない宝物になると思うので今出来ることを一生懸命頑張ってください！



## 社会福祉学科



### 高齢者福祉論

### ソーシャルワーク演習I

社会福祉学科には講義・演習・実習科目が配置されています。講義(座学)で得た知識を演習で活用し、実習で実践することによってソーシャルワーク実践に必要な知識や技術を身につけていきます。4月に入学した1年生も、施設等での実習やフィールドワークに向けて準備を頑張っています。



### 社会福祉学科における学び

社会福祉学科では、社会福祉の専門家として必要な知識を講義などから得ることができます。また、演習をとおして、専門的な援助の技法を学ぶことができます。本学科の講義や演習は、少人数制の特徴を生かして、段階的に、無理なく進められておりますので、授業へ積極的に参加することにより、確



社会福祉学科長  
大山 博史

実に学びを深められます。

本学科では、多くの教員が専門分野を生かして地域に貢献していることも特徴です。これらの教員の指導の下、学生自身が3年生から卒業研究に着手します。ここでは、社会福祉の理論や歴史的側面、支援に関する実証研究などに触れ、社会福祉のグローバルな知見と実践の統合を図ることができます。また、国家資格である「社会福祉士」と「精神保健福祉士」の養成を担っており、国家試験合格率は全国でトップクラスを維持しています。本学科の就職率も非常に高い水準にあり、卒業生は福祉、医療、行政等の現場で活躍しています。

保護者や同窓生の皆様、地域の方々には、今後も社会福祉学科へのご支援をお願い申し上げます。

### 平成 28 年度卒業生 近況報告



小樽市立病院  
精神保健福祉士  
西岡 彩華

私は今、総合病院の精神科で精神保健福祉士として働いています。仕事を先輩に教わりながら書類整理や面談、入院調整などを行っています。毎日が学びの連続で、一日が目まぐるしく過ぎていきますが充実しています。

現場では大学の講義で学んだ知識や、実習やグループワークを通して得た視点が大切であると様々な場面で実感します。仕事で失敗することもあります。失敗を次につなげられるように意識しながら元気に働いています。今後はこれまでの学びを実際に活かし、早く一人前になれるように日々精進していきたいと思っています。

## 栄養学科



### 臨床栄養学実習II

糖尿病の方に栄養指導をするための実習を行っています。学生同士の模擬指導ですが、指導者役だけでなく、患者役もしっかりと準備をし、実践的な学びをしています。



### 食品学実験I

タンパク質、糖の定性反応を行い、タンパク質・アミノ酸の種類、糖の種類による反応の違いを見ています。

### 栄養専門職は正に天職です。 我々教員は責任をもって 学生諸君を鍛えます。



栄養学科長  
今 淳

適切な量と質の食物を経口摂取し、消化・吸収及び代謝が正常になされている場合に、私達は健康を維持できます。しかし、このプロセスのどこかに異常を来すと、病気に陥って死に至ることになります。このような状況では、たとえ医師から最高の医療を受けても、もはや完治は望めません。では、この問題を

解決してくれるのは一体誰なのでしょう。管理栄養士などの栄養専門職者。それが答えです。栄養専門職者こそ、このプロセスを完璧に是正でき、疾病の治療・予防、健康保持のための基盤を私達の体内に築き上げることができる唯一のプロなのです。この基盤ができてこそ医師による治療が功を奏するのです。基盤ができていなければ治療は砂上の楼閣であり、脆くも崩れ去ってしまいます。即ち栄養専門職は私達の命の源を司っており、正に天職なのです。栄養専門職を目指す学生諸君は、このことを決して忘れず、誇りと気概をもって頑張ってもらいたいと思っています。そのために私達教員は、学生諸君が最高のレベルの能力を身に付け、将来、最高のレベルの医療を提供できる栄養専門職へとなるよう、責任をもって徹底的に厳しく鍛えることを約束します。志を持つ多くの学生諸君が決して挫けずに精進し、青森県、日本、そして世界の中心へと飛躍して行くことを大いに期待しています。

### 平成 28 年度卒業生 近況報告



青森県立盲学校  
畠山 日菜子

私は青森県立盲学校に学校栄養士として勤務しています。小学生から成人まで幅広い年代の方が在籍する特別支援学校で、寄宿舎があり朝食・給食・夕食の一日3食を提供しています。仕事が始まり約一ヶ月が経ちますがまだ覚えることが多く、前任の先生や周りの先生方、調理員の方のサポートをいただきながら奮闘する毎日です。未熟者ですが、青森の食の魅力と食の大切さを伝えながら安全で安心な食事を提供できる栄養士を目指し、頑張ります！

# 青森県立保健大学後援会より



後援会会長  
大澤 琢哉

後援会会員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本学は開学より19年目を迎え、建学の理念である「ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材の育成」のもと、実践的な社会人育成に向けた専門性の高い大学として着実にその存在感を高めてきております。後援会では、新入生研修や学生の福利厚生、大学祭

やサークルなどの活動、卒業研究の助成等、学生が大学に入学してから卒業するまでのさまざまな場面で学生に対する支援を行っております。

後援会会員の皆様のご理解とご協力のもと、後援会では、これからも学生の成長を温かく見守ってまいりますと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 平成29年度青森県立保健大学後援会役員名簿

<b>会長</b>	大澤 琢哉 (理学療法学科 4年)	<b>理事</b>	齋藤 勝博 (看護学科 1年) 中村 智子 (看護学科 1年) 村上 玲奈 (理学療法学科 1年)
<b>副会長 (理事)</b>	岩崎 千穂 (看護学科 4年) 工藤 明子 (理学療法学科 2年)	<b>監事</b>	中村 純子 (理学療法学科 2年) 石川 武 (栄養学科 4年)
<b>理事</b>	山本 道弘 (看護学科 2年) 伊藤 美香 (社会福祉学科 2年)	<b>顧問</b>	杉山 克己 学生部長

※( )内は在学中の学生の学科及び学年です。

## 後援会 決算、予算

### 平成28年度 後援会決算書

(収入の部)				(単位:円)
項目	予算額(A)	収入額(B)	比較(B-A)	摘要
1 会費収入	11,940,000	12,060,000	120,000	@50,000×232人(学部学生) @25,000×5人(編入学生:看護) @37,500×1人(編入学生:社福) @37,500×1人(編入学生:栄養) @20,000×13人(大学院生)
2 前年度からの繰越金	21,908,530	21,908,530	0	
3 雑収入	3,408	328	△ 3,080	預金利息等
合計	33,851,938	33,968,858	116,920	

(支出の部)				(単位:円)
項目	予算額(C)	支出額(D)	比較(D-C)	摘要
1 会議費	77,000	28,000	△ 49,000	後援会総会・理事会等出席に係る役員の交通費
2 事務費	100,000	114,692	14,692	保護者懇談会の開催案内発送費、各事業費振込手数料
3 事業費	11,711,000	10,933,448	△ 777,552	
(1) サークル活動助成費	1,393,000	1,349,690	△ 43,310	自治会活動助成費、サークル助成費
(2) 大学祭等助成費	1,500,000	1,500,000	0	大学祭運営費
(3) 会報誌作成費	145,000	120,785	△ 24,215	大学広報誌(年2回)後援会負担分
(4) 学生福利厚生費	2,061,000	1,561,772	△ 499,228	肝炎検査、貧血検査、実習に係る諸検査費用
(5) 国際交流助成費	50,000	39,640	△ 10,360	
(6) 就職対策費	320,000	148,710	△ 171,290	4年生対象ガイダンス、3年生対象ガイダンス
(7) 卒業関係助成費	3,675,000	3,678,651	3,651	卒業関連事業助成、卒業研究助成、特別・課題研究助成
(8) 新入生研修費	2,517,000	2,498,500	△ 18,500	新入生に対する学内研修及び学科別交流に要する昼食代等
(9) その他	50,000	35,700	△ 14,300	大学院生関連事業
4 予備費	52,000	0	△ 52,000	
小計	11,940,000	11,076,140	△ 863,860	
5 次年度以降事業費	21,911,938	22,892,718	980,780	
合計	33,851,938	33,968,858	116,920	

※次年度への繰越金 22,892,718 円(総収入 33,968,858 円 - 総支出 11,076,140 円)

### 平成29年度 後援会予算書

(収入の部)				(単位:円)
項目	(A)28年度予算	(B)29年度予算	比較(B-A)	摘要
1 会費収入	11,940,000	12,052,500	112,500	@50,000×229人(学部学生)(大学予算案ベース) @25,000×10人(編入学生:看護) @37,500×1人(編入学生:社福) @37,500×2人(編入学生:栄養) @20,000×12人(大学院生)
2 前年度からの繰越金	21,908,530	22,892,718	984,188	
3 雑収入	3,408	328	△ 3,080	預金利息等(前年度実績ベース)
合計	33,851,938	34,945,546	1,093,608	

(支出の部)				(単位:円)
項目	(C)28年度予算	(D)29年度予算	比較(D-C)	摘要
1 会議費	77,000	63,000	△ 14,000	後援会総会・理事会等出席に係る役員の交通費
2 事務費	100,000	130,000	30,000	保護者懇談会開催案内等送料、各種振込手数料
3 事業費	11,711,000	11,807,000	96,000	
(1) サークル活動助成費	1,393,000	1,443,000	50,000	自治会活動助成費、サークル助成費
(2) 大学祭等助成費	1,500,000	1,500,000	0	大学祭運営費
(3) 会報誌作成費	145,000	145,000	0	「活彩!保健大学だより」作成・発送費の後援会負担分
(4) 学生福利厚生費	2,061,000	1,540,000	△ 521,000	肝炎検査、貧血検査、実習に係る諸検査費用
(5) 国際交流助成費	50,000	50,000	0	国際交流に係る経費
(6) 就職対策費	320,000	320,000	0	学科別ガイダンス、ワークショップ
(7) 卒業関係・国家試験対策関係助成費	3,675,000	3,720,000	45,000	卒業関連事業助成、卒業研究・国家試験対策助成修了関連事業助成、特別・課題研究助成
(8) 新入生研修費	2,517,000	2,517,000	0	新入生の学外での宿泊研修に係る宿泊費等
(9) アカデミックカンファレンス	0	522,000	522,000	卒業(修了)式・学位記授与式着用分のクリーニング代
(10) その他	50,000	50,000	0	大学院生関連事業
4 予備費	52,000	52,000	0	
小計	11,940,000	12,052,000	112,000	
5 次年度以降事業費	21,911,938	22,893,546	981,608	
合計	33,851,938	34,945,546	1,093,608	

# 退職・新任の教員から 一言メッセージ

## 退職

### 看護学科

#### ●木村 飛鳥先生

在職中はたくさんの方々にお世話になりました。本当にありがとうございました。大学での学び・経験を活かしていきたいと思いをします。

#### ●齋藤 良子先生

### 栄養学科

#### ●藤田 修三先生

13.5年間勤務し、9月に退職しました。栄養学科開設以降、食生活から県民健康寿命の延伸を働きかけ、学科パワーで「減塩→だし活運動」が巻き起こっています。大きな官学連携成果です。これからも地域に根ざした保健大で。

#### ●岩井 邦久先生

『よく遊び、よく学べ』をモットーに、授業、実験、研究を通じて学生と様々なことを学ばせて頂きました。特に、栄養学科開設に携われたことは貴重な経験でした。11年余ありがとうございました。

#### ●吉岡 美子先生

栄養学科開設2年目から着任し、熱心な学生の皆さんに励まされながら非常に有意義で充実した8年間でした。そして、教職員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

#### ●岩部 万衣子先生

保健大学で学生の皆さんとともに過ごした9年間は、とても楽しく、多くの学びがあり、私にとってかけがえのない時間でした。本当にありがとうございました。これからの皆さまのご活躍を心より応援しております。

#### ●片岡 沙織先生

学生の皆さんと共に過ごすことがとても楽しい4年間でした。雪の時期の徒歩での通勤は、とても素敵なトレーニングになりました。次のステージでも日々精進したいと思います。本当にどうもありがとうございました。

#### ●米谷 瑞紀先生

実験・実習助手として3年間勤務させていただき、素敵な教職員の方々や学生の皆さんと過ごすことができたと感じております。今後も地元青森県で、皆様のご活躍を楽しみにしています。本当にありがとうございました。

#### ●秦 希久子先生

本学での勤務は私にとって貴重な経験となりました。青森を離れるのは寂しいですが、次に皆さんとお目にかかるのを楽しみに、新しい職場でも教育や研究に励みます。1年間大変お世話になり、ありがとうございました！

## 新任

### 看護学科

#### ●櫻庭 奈美先生

はじめまして。青森は初めての地です。学生たちから青森のことを、学生自身のことを教わりながら、私からも人間性豊かな看護を展開できる看護師になれるよう教育、支援でお返ししていきたいと思いをします。どうぞよろしくお願い致します。

#### ●佐々木 知映先生

本年度より看護学科 母性・助産学領域で助手を務めさせていただいております。まだ教員として未熟ではありますが、学生がのびのびと学べるよう、全力でサポートします。どうぞよろしくお願い致します。

### 社会福祉学科

#### ●山田 伸先生

4月より着任いたしました山田伸と申します。14年間、精神保健福祉士として精神科病院に勤務し、相談援助や精神科リハビリテーションに携わってきました。実践と理論を統合した教育を目指し、ともに成長していきたいと思いをしますので、よろしくお願い致します。

### 栄養学科

#### ●鹿内 彩子先生

4月より着任いたしました、鹿内彩子と申します。初めての東北地方・青森での生活、公私共にいろいろなことに少しずつチャレンジし、慣れていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

#### ●大野 智子先生

今年度より調理学、応用栄養学実習等の科目を担当する管理栄養士の大野と申します。青森県の豊かな自然や食環境の中で、学生の皆さんの一助となり得るよう日々努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

#### ●小山 達也先生

4月より助手に着任しました。青森に住むのは初めてで、青森の食文化を楽しみたいと思っています。学生の皆さんが楽しく充実した日々を送れるよう努力しますので、どうぞよろしくお願い致します。

#### ●館花 春佳先生

4月から栄養学科の実験・実習助手に着任しました、館花春佳と申します。自身である青森の保健・医療・福祉に貢献できるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

#### ●森山 磨理子先生

4月より実験・実習助手に着任しました。昨年度、本学の栄養学科を卒業したばかりです。社会人1年目で、至らない点もありますが、教員また卒業生としても学生の皆さんをサポートできるよう努力してまいります。

#### ●吉田 優弥先生

4月より実験・実習助手に着任しました、吉田優弥と申します。青森で生活するのは初めてで、青森の風土や食文化に触れるのが楽しみです。学生さんと共に学び、成長していきたいと思いをします。よろしくお願い致します。

## ヘルスリテラシーコラム



ヘルスリテラシー推進特命部長  
大西 基喜

本学ではヘルスリテラシー推進事業を平成26年度に着想、27年度から本格的に取り組みを始めています。大学をあげて、住民のヘルスリテラシー向上に取り組むという全国的にも珍しいチャレンジですが、本学のヒューマンケアの人材育成をめざす使命と合致した試みと考えています。

27、28年度と2年間、日本ヒューマンケア科学学会や公開講座等で取り上げるとともに、学生や教職員による住民支援の事業や研究、大学祭のイベントにも関連のコーナーを設けるなど、多角的に取り

組んできました。こうした取り組みは28年度末に作成したホームページ：「マルホ健やかナビ」(トップ左上にバナーがあります)にも随時反映させております。そして、今年度もさまざまな取り組みを続けていきます。

教育面では大学院で今年4月からヘルスリテラシーを反映させた新カリキュラムがついにはじまりました。学部のカリキュラムは来年度一新しますが、これにも人材育成を見据えたヘルスリテラシー関連の科目編成につき、今年度検討を重ねてまいります。

## 平成 29 年度 年間スケジュール

4月	5月	7月	8月	9月	10月	11月	2月	3月
 入学式(4/4)	公開講座		 ケア付きねぶた		 大学祭(10/7,8)	12月 広報誌(第38号)発送		 卒業証書・学位記授与式(3/7)
 新入生研修(4/8,9)	6月 広報誌(第37号)発送	前期試験	 オープンキャンパス	集中講義 後期スタート(9月末)	 保護者等(後援会)懇談会(10/7)	1月 後期試験	集中講義	

# 国家試験結果と卒業後の進路について

## 国家試験合格率

### 看護学科

**看護師 99.0%**  
(合格者 104名 / 受験者 105名)

**保健師 100%**  
(合格者 31名 / 受験者 31名)

**助産師 75.0%**  
(合格者 3名 / 受験者 4名)

### 理学療法学科

**理学療法士 100%**  
(合格者 34名 / 受験者 34名)

### 社会福祉学科

**社会福祉士 84.0%**  
(合格者 42名 / 受験者 50名)

**精神保健福祉士 100%**  
(合格者 12名 / 受験者 12名)

### 栄養学科

**管理栄養士 87.9%**  
(合格者 29名 / 受験者 33名)



社会福祉士合格率は  
**2年連続全国1位**  
なんだった！

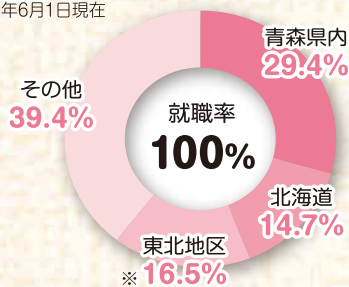
15期生社会福祉学科の合格率は  
**全国第1位**でした。

※受験者50名以上の学校70校中

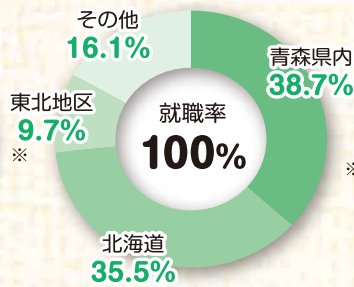
## 就職率

平成29年6月1日現在

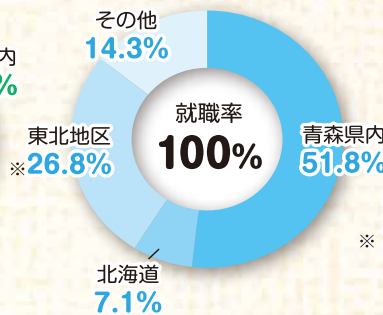
### 看護学科



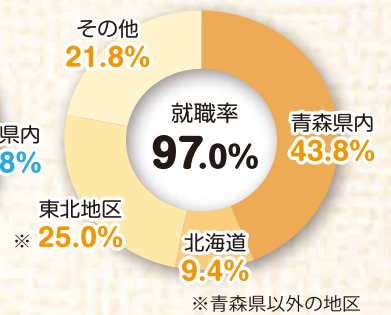
### 理学療法学科



### 社会福祉学科



### 栄養学科



※青森県以外の地区

## 今年の就職合同説明会

### ● 県内就職合同説明会(看護・社会福祉・栄養学科対象)

平成29年5月13日(土)  
13:00~16:00  
本学交流センター



### ● 県外就職合同説明会(看護・社会福祉・栄養学科対象)

平成29年6月3日(土)  
13:00~16:00  
青森産業会館



### ● 理学療法学科対象就職合同説明会

平成29年7月22日(土) 13:00~16:00 本学交流センター

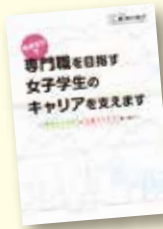
### ● 秋季就職合同説明会

平成29年11月9日(水) 14:10~17:00 C棟コミュニティホール

## COC+事業

### 「女子学生のキャリア支援プログラム」のご紹介

平成27年から弘前大学が代表校で「オール青森で取り組む地方人財育成・定着事業」が展開されています。この事業には、県内の主な大学・県・市が参加しており、本学も協定を締結し、「女子学生のキャリア支援教育プログラム開発」のリーダー校として、他大学とともに事業に取り組んでいます。



学生セミナー「くらす?はたらく」 session1 ~男社会?女社会~

成果報告リーフレット

女性は、職業、勤務する場所、仕事を続けるか等を決めるにあたり、仕事と生活とのバランスで悩み、困難を抱くことが多い現状にあります。私たちは、学生が自身の働き方や生き方、将来の社会構造について適切、かつ具体的なイメージを持ち、その上で、青森県や地元への就職を望み、希望する生き方・働き方をしながら定着することができれば理想的であると考えています。

これまでに学生向けセミナー「くらす?はたらく」や、企業向けセミナー「採用力向上セミナー」などを開催し、高い評価を受けております。本年はこれまでの成果をまとめたリーフレットを作成しました。今後も意欲的に事業展開していきますので、ご注目いただけますと幸いです。

## 卒業後の進路としての大学院進学



大学院健康科学研究科長  
吉池 信男

本学卒業後は、保健・医療・福祉分野の国家資格を取得し、それぞれの専門性を活かした職場へ就職するというイメージが強いと思いますが、大学院に進学し専門性を高め、自らの研究課題に取り組むことも選択肢の一つです。大学卒業後に大学院で学び、そのキャリアを活かして就職した方、いったん専門職として就職し、働きながら大学院を修了した方などを含めて、毎年、15名程度の方が本学大学院に入学しています。また、高度専門職として「がん看護専門看護師」等の資格を得ることができます。

学部の4年間で基礎の「土台」とすれば、それを大きく発展させるのが大学院です。学部よりもさらに少人数での講義・演習・研究指導が行われ、様々な専門・職種(学生・教員)と「学際的な」アプローチが可能なことも、本学大学院の魅力の一つです。

コース・カリキュラムの詳細や年2回の入学者選抜(10月、2月)については、5月下旬にホームページや大学院案内でお知らせするとともに、オープンキャンパス等でもご案内いたします。

発行：青森県立保健大学 広報委員会・青森県立保健大学 後援会



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学